



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月11日

上場会社名 Chordia Therapeutics株式会社 上場取引所 東
コード番号 190A URL <https://www.chorditherapeutics.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 三宅 洋
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 久米 健太郎 TEL 03 (6661) 9543
定時株主総会開催予定日 2024年11月28日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2024年11月29日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	-	-	△1,801	-	△1,824	-	△1,827	-
2023年8月期	2,500	-	212	-	225	-	223	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	事業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	△31.11	-	△42.3	△38.2	-
2023年8月期	3.96	-	5.1	4.8	8.5

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 -百万円 2023年8月期 -百万円

- (注) 1. 2024年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。また、2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため記載していません。
2. 当社は、2023年6月2日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	4,632	4,161	89.8	61.44
2023年8月期	4,909	4,500	91.2	79.28

(参考) 自己資本 2024年8月期 4,154百万円 2023年8月期 4,474百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	△1,937	△10	1,478	4,329
2023年8月期	543	0	-	4,799

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年8月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は対前期増減率）

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	△2,434	-	△2,378	-	△2,380	-	△35.17

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期	67,678,800株	2023年8月期	56,443,800株
② 期末自己株式数	2024年8月期	一株	2023年8月期	一株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	58,729,483株	2023年8月期	56,443,800株

（注）2023年6月2日付で普通株式1株につき200株とする株式分割を行っております。このため、2023年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2024年10月15日（火）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、これまでにない新しい抗がん薬を、一日でも早く患者様のもとに届けることで、『Tomorrow is Another day～明日に希望を感じる社会～』を実現することを目指しています。

当社はアンメットメディカルニーズの高いがん領域に特化した創薬研究を進めており、これまでにない新しい作用機序を有する低分子の画期的医薬品（ファーストインクラス）の研究開発を行っています。ファーストインクラスの医薬品は、既存治療薬と異なる有用性を示すことが期待され、これまでの治療法を大きく変えることができる医薬品に成長する可能性があります。特に既存治療薬では十分な効果が認められず、現在のがんの進行に不安を感じている多くの患者様に対して、がんの進行をコントロールできるという希望を届けることを目標に事業の推進を行って参りました。

当事業年度においては、CLK阻害薬CTX-712（以下、CTX-712）を中心としたパイプラインの研究開発は順調に進捗しております。

CTX-712については、新型コロナウイルス感染症への対応が継続している中においても、臨床試験実施期間の協力のもとで患者登録を継続したことで、日本における第1相臨床試験の症例登録（固形がん46例、血液がん14例、合計60例）を完了させることが出来ました。日本における第1相臨床試験の結果として、2024年4月に開催された米国がん学会において2023年11月時点までの第1相臨床試験の安全性、有効性、ゲノム情報、薬物動態に関して、46例の固形がん、及び14例の血液がんの結果を報告しました。観察されたDLT（Dose-Limiting Toxicity：用量制限毒性）は、脱水、血小板数減少、低カリウム血症、及び肺炎であり、週2回の投与におけるMTD（Maximum Tolerated Dose：最大耐用量）は140mgと決定されました。CTX-712に関連する有害事象として吐き気、嘔吐、下痢等が挙げられましたが、許容される安全性プロファイルと考えられました。有効性に関しては、固形がん46例において4例のPR（partial response：部分奏効）を認め、それらはすべて卵巣がん（4/14例、28.6%）でした。Myc amplification（転写を制御するMyc遺伝子の増幅）を有する卵巣がんに着目すると、3例中2例（66.7%）でPRが得られました。AML（急性骨髄性白血病）、MDS（骨髄異形成症候群）計14例において、4例のCR（complete remission：完全寛解）、1例のCRi（complete remission with incomplete hematologic recovery：好中球未回復の完全寛解）、1例のMLFS（morphologic leukemia-free state：形態学的無白血病状態）を認め、Overall Response Rate（奏効率）は42.9%でした。また、そのうちSplicing Factor mutation（スプライシング因子での異常）のある4例に着目すると3例（75%）の奏効が認められました。奏効を得た症例のうち3例は投与期間が300日以上と長期間の奏効を認め、そのうち1例は974日でありました。さらにPK（pharmacokinetics：薬物動態）解析では、用量依存的な全身曝露量の増加が観察され、PD（pharmacodynamics：薬力学的）マーカーとして設定したRNAのスプライシング変化が用量依存的に増加したことから、CTX-712による薬力学的反応が確認されました。以上より、卵巣がん、血液がんにおいてCTX-712が有効であることを示すことができました。

また、米国における血液がんでの第1／2相臨床試験についても順調に推移しており、2024年8月末時点においては20例への投与を完了しており、更なる試験の進捗に向けた活動を行っているところです。

MALT1阻害薬CTX-177（以下、CTX-177）については、2020年12月に小野薬品工業株式会社と締結したライセンス契約に基づき、小野薬品工業株式会社が米国において再発または難治性の非ホジキンリンパ腫もしくは慢性リンパ性白血病の患者を対象に第1相臨床試験を実施頂いています。また対外発表としては、2024年6月での米国臨床腫瘍学会においては、第1相臨床試験の概要を小野薬品工業株式会社から発表されました。

現在非臨床段階にあるCDK12阻害薬CTX-439（以下、CTX-439）については、臨床試験開始に向けての安全性試験や治験原薬の製造を終え、現在次のフェーズの準備を進めているところです。

特許については、CTX-712の物質特許では、2カ国で追加登録されて、現在51カ国で登録済み、CTX-177の物質特許では、5カ国で追加登録されて、現在11カ国で登録済み、CTX-439の物質特許では、1カ国および1地域で追加登録されて、現在4カ国および1地域で登録済み、GCN2阻害薬（以下、GCN2）の物質特許では、現在6カ国で登録済みとなっています。また、CTX-712に関しては、固形がんにおけるバイオマーカー特許（W02023/190967）が公開されたことに加え、2024年1月に新たな特許出願を行っています。

以上の結果、当事業年度の事業収益は該当ありませんでした（前事業年度は2,500百万円）。事業費用につきましては、研究開発費が1,499百万円（前事業年度比で24.9%減少）、販売費及び一般管理費が301百万円（前事業年度比で3.6%増加）となりました。

この結果、営業損失は1,801百万円（前事業年度は営業利益212百万円）、経常損失は1,824百万円（前事業年度は経常利益225百万円）、当期純損失は1,827百万円（前事業年度は当期純利益223百万円）となりました。

なお、当社は医薬品事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績を記載していません。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末における資産合計は4,632百万円となり、前事業年度末と比較して276百万円減少しました。このうち、流動資産の残高は4,605百万円となり、前事業年度末と比較して286百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が469百万円減少したことによるものであります。また、固定資産の残高は26百万円となり、前事業年度末と比較して9百万円増加しました。

(負債)

当事業年度末における負債合計は471百万円となり、前事業年度末と比較して62百万円増加しました。このうち、流動負債の残高は471百万円となり、前事業年度末と比較して62百万円増加しました。これは主として、未払金が133百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は該当ありません。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は4,161百万円となり、前事業年度末と比較して339百万円減少しました。これは主として、資本金及び資本剰余金がそれぞれ755百万円増加した一方、当期純損失を計上したことにより利益剰余金が1,827百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は4,329百万円となり、前事業年度末から469百万円減少しました。当事業年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果使用した資金は1,937百万円(前事業年度獲得した資金は543百万円)となりました。これは主として、税引前当期純損失1,824百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は10百万円(前事業年度獲得した資金は0百万円)と少額の発生にとどまりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果獲得した資金は1,478百万円(前事業年度は該当なし)となりました。これは主として、株式の発行による収入1,464百万円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年8月期の事業収益については、CTX-712及びCTX-439、GCN2における新たな事業提携による契約一時金による収益、既に小野薬品工業とライセンス契約を締結しているCTX-177について今後のパイプラインの進捗に応じたマイルストーン対価による収益などは期待されるものの、合理的に予想することが難しいことから、業績予想数値に織り込んでいませんが、今後予想可能となった時点で速やかに開示いたします。

2025年8月期の研究開発費を含む事業費用は2,434百万円(前期比35.1%)を見込んでおります。研究開発費については、予測される研究開発進捗を元にして費用を見込んでおります。当社は、米国におけるCTX-712の第1/2相臨床試験の着実な進展を目指しており、2025年8月期は今後の承認獲得において重要となる安全性及び初期の有効性の評価を行う第1相パートを完了させることに向けて臨床試験を進めてまいります。それに加えて、前期に完了予定であった申請用試験となりうる第2相パート用の治験薬製造の費用の発生を見込んでいることから、CTX-712においては1,610百万円(前期比58.1%)を見込んでおります。また、CTX-712以外のプロジェクトにおいては、収益の多角化を目指して検討を進めておりますが、外部委託による研究を抑制し、内部研究員による自社研究および助成金を使った研究開発を進めることで効率的な研究開発を進めていく方針です。販売費及び一般管理費については408百万円(前期比35.5%)を見込んでおります。

この結果、営業損失は2,434百万円(前期比35.1%)を計画しております。

営業外損益は、主に国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)からの補助金収入56百万円を見込んでおります。

以上の結果、2025年8月期の業績見通しにつきましては、事業収益は計上無し(前期と同一)、営業損失2,434

百万円（前期比35.1%）、経常損失2,378百万円（前期比30.3%）、当期純損失2,380百万円（前期比30.3%）を予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,799,035	4,329,624
前渡金	40,518	59,657
前払費用	52,058	38,155
その他	—	177,981
流動資産合計	4,891,612	4,605,418
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	10,675	11,213
減価償却累計額	△6,249	△8,468
工具、器具及び備品 (純額)	4,425	2,744
有形固定資産合計	4,425	2,744
無形固定資産		
ソフトウェア	2,497	620
無形固定資産合計	2,497	620
投資その他の資産		
長期前払費用	8,691	11,269
その他	1,894	12,316
投資その他の資産合計	10,586	23,586
固定資産合計	17,510	26,952
資産合計	4,909,123	4,632,370
負債の部		
流動負債		
未払金	248,433	382,428
未払費用	9,882	2,295
賞与引当金	15,720	—
未払法人税等	2,420	54,290
その他	131,784	32,058
流動負債合計	408,241	471,072
負債合計	408,241	471,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	845,270
資本剰余金		
資本準備金	5,406,936	6,162,207
その他資本剰余金	2,872,664	2,872,664
資本剰余金合計	8,279,601	9,034,871
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△3,894,652	△5,721,780
利益剰余金合計	△3,894,652	△5,721,780
株主資本合計	4,474,948	4,158,362
新株予約権	25,933	2,935
純資産合計	4,500,881	4,161,297
負債純資産合計	4,909,123	4,632,370

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日)	当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日)
事業収益	2,500,000	—
事業費用		
研究開発費	1,996,823	1,499,795
販売費及び一般管理費	291,119	301,600
事業費用合計	2,287,942	1,801,396
営業利益又は営業損失(△)	212,057	△1,801,396
営業外収益		
転籍補償金収入	17,204	—
助成金収入	8,181	17,727
その他	562	104
営業外収益合計	25,948	17,831
営業外費用		
株式交付費	—	8,745
上場関連費用	—	28,794
為替差損	12,243	3,601
その他	0	—
営業外費用合計	12,243	41,142
経常利益又は経常損失(△)	225,761	△1,824,707
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	225,761	△1,824,707
法人税、住民税及び事業税	2,420	2,420
法人税等合計	2,420	2,420
当期純利益又は当期純損失(△)	223,341	△1,827,127

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	90,000	5,406,936	2,872,664	8,279,601	△4,117,994	△4,117,994
当期変動額						
当期純利益					223,341	223,341
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)						
当期変動額合計	—	—	—	—	223,341	223,341
当期末残高	90,000	5,406,936	2,872,664	8,279,601	△3,894,652	△3,894,652

	株主資本	新株予約権	純資産合計
	株主資本合計		
当期首残高	4,251,606	25,933	4,277,539
当期変動額			
当期純利益	223,341		223,341
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)		—	—
当期変動額合計	223,341	—	223,341
当期末残高	4,474,948	25,933	4,500,881

当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	90,000	5,406,936	2,872,664	8,279,601	△3,894,652	△3,894,652
当期変動額						
新株の発行	736,526	736,526		736,526		
新株の発行 (新株予約権の行使)	18,743	18,743		18,743		
当期純損失 (△)					△1,827,127	△1,827,127
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	755,270	755,270	—	755,270	△1,827,127	△1,827,127
当期末残高	845,270	6,162,207	2,872,664	9,034,871	△5,721,780	△5,721,780

	株主資本	新株予約権	純資産合計
	株主資本合計		
当期首残高	4,474,948	25,933	4,500,881
当期変動額			
新株の発行	1,473,053		1,473,053
新株の発行 (新株予約権の行使)	37,487		37,487
当期純損失 (△)	△1,827,127		△1,827,127
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		△22,997	△22,997
当期変動額合計	△316,586	△22,997	△339,583
当期末残高	4,158,362	2,935	4,161,297

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日)	当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	225,761	△1,824,707
減価償却費	6,042	4,095
株式交付費	—	8,745
助成金収入	△8,181	△17,727
前払費用の増減額 (△は増加)	12,574	13,903
前渡金の増減額 (△は増加)	△21,522	△19,139
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△6,994	△2,577
未払金の増減額 (△は減少)	108,404	133,994
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,653	△15,720
その他	227,720	△238,787
小計	536,151	△1,957,919
助成金の受取額	10,000	23,090
法人税等の支払額	△2,420	△2,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	543,731	△1,937,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△347	△537
無形固定資産の取得による支出	△376	—
その他	1,069	△10,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	345	△10,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	1,464,307
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	14,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	1,478,797
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	544,077	△469,411
現金及び現金同等物の期首残高	4,254,958	4,799,035
現金及び現金同等物の期末残高	4,799,035	4,329,624

- (5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)
当社の事業セグメントは、医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日)	当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日)
1株当たり純資産額	79.28円	61.44円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	3.96円	△31.11円

- (注) 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。なお、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2. 当社は、2023年6月2日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自2022年9月1日 至2023年8月31日)	当事業年度 (自2023年9月1日 至2024年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	223,341	△1,827,127
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	223,341	△1,827,127
普通株式の期中平均株式数 (株)	56,443,800	58,729,483
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権8種類(7,807,000株)	新株予約権7種類(7,037,000株)

(重要な後発事象)
該当事項はありません。